

太平洋戦争末期に
日米両軍の死闘が
繰り広げられた
この島は——



破壊と死
絶望が支配して
いました

生きるため
微かな望みを託して
人々は地の底へ
降りてゆきました

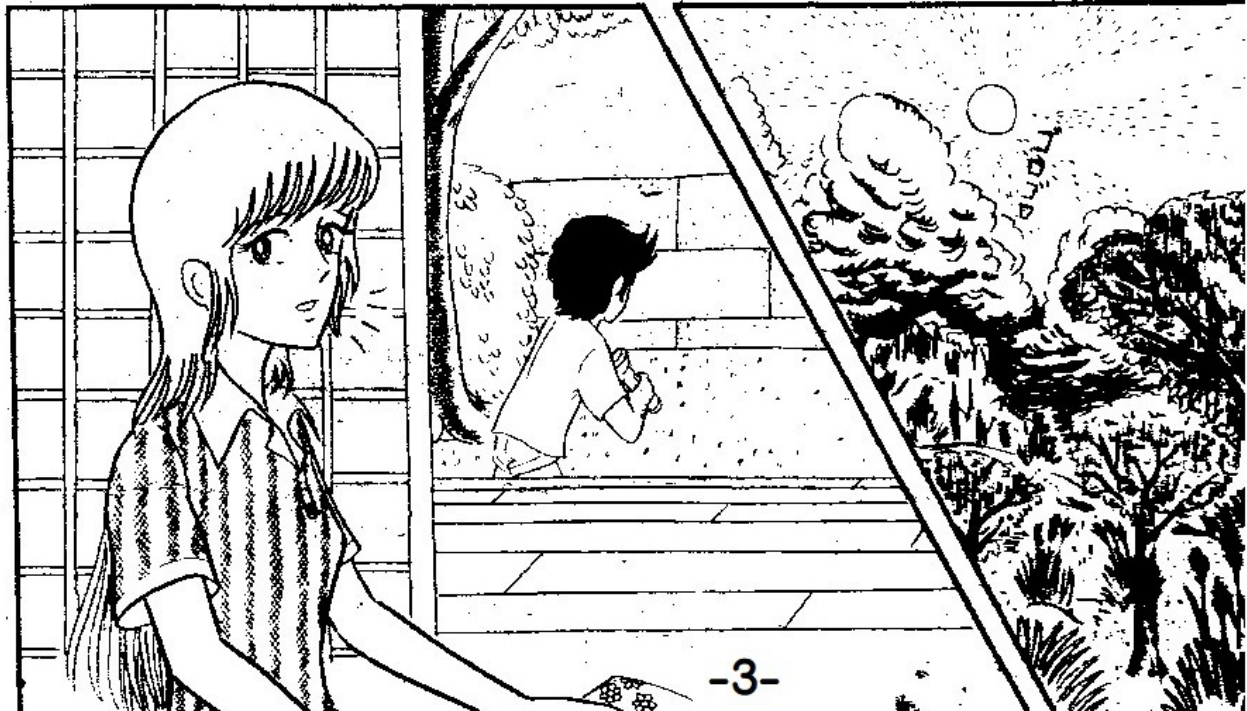
そして
再び地上へ出る時を
待っていたのです



闇の中の過去

作/TITIKAKACOCO

1982年作品の
復刻再生版



懐中電灯
じゃないの



まさかー！

卓っ！
どこへ
行くの？

あんた
まさか
裏の壕に
行くんじゃない
でしようね！



あつ

卓っ
待ちなさい
卓っ！

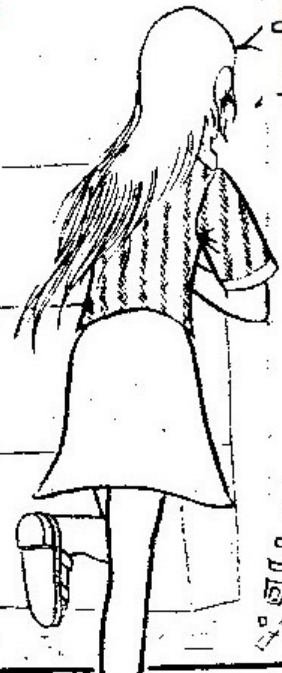


ブーン
待たない
よーだ

困った子
ね



卓っ
あぶない
わよーっ



カラシ

卓っ！

お母さんに
言いつけるわ
よっ

おい
中に
隠れようぜ

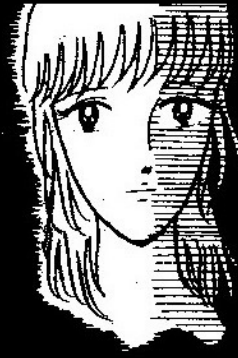


早く出て
きなさい
壕が崩れたら
どうするの！

卓っ
お姉さんが
入ってこれない
って思ってるの？



弟を追って
昔の壕の中へ入った
私は――



暗い闇に包まれて
脚をすべらせ
深い穴に落ちて
しまいます

落ちたショックで
意識を失った私を――
介抱してくれたのは、
見知らぬ少年でした



濃い緑の
古ぼけた服を着た
不思議な少年

壕の奥に
入ってしまった
弟を心配して――
近所に知らせに
行こうとする私を
引き留める少年



不可解な少年の言動に
違和感を覚えた私
やがて少年と私の
認識の違いが
明らかとなります

昭和58年
だってえ？

そんな……

それじゃあ
俺は、38年間も
気を失って
いたって……

そーよ
私かわからないのは
とにかく
ここにいても
何も解決しない

外にー
外に出ましよう、

外へ出る
だって？
あの、わけの
わからない所へ？

嫌だ！
嫌だ！
俺は
出ないぞ

あんな
所へ
行くか！

でも
このままじゃ
どうしようもない

嫌だ！
出るもんか
いいかげんに
してよっ

あなた男
でしよう？
これぐらいの
ことが怖いのか？

男だから
何だって
んだ

お前なんか
俺の気持ち
が、
わかってたまるかっ！

わかるもん
ですかっ

あなたが
本当に軍人
ならー

これぐらいのこと
どうして
恐れるの？

いくじ
なしっ！

よっ

なあ

君、何て名だ？

あたし？

うんせ

平良京子
……京子

京子か
いい名だ

あなた
は？

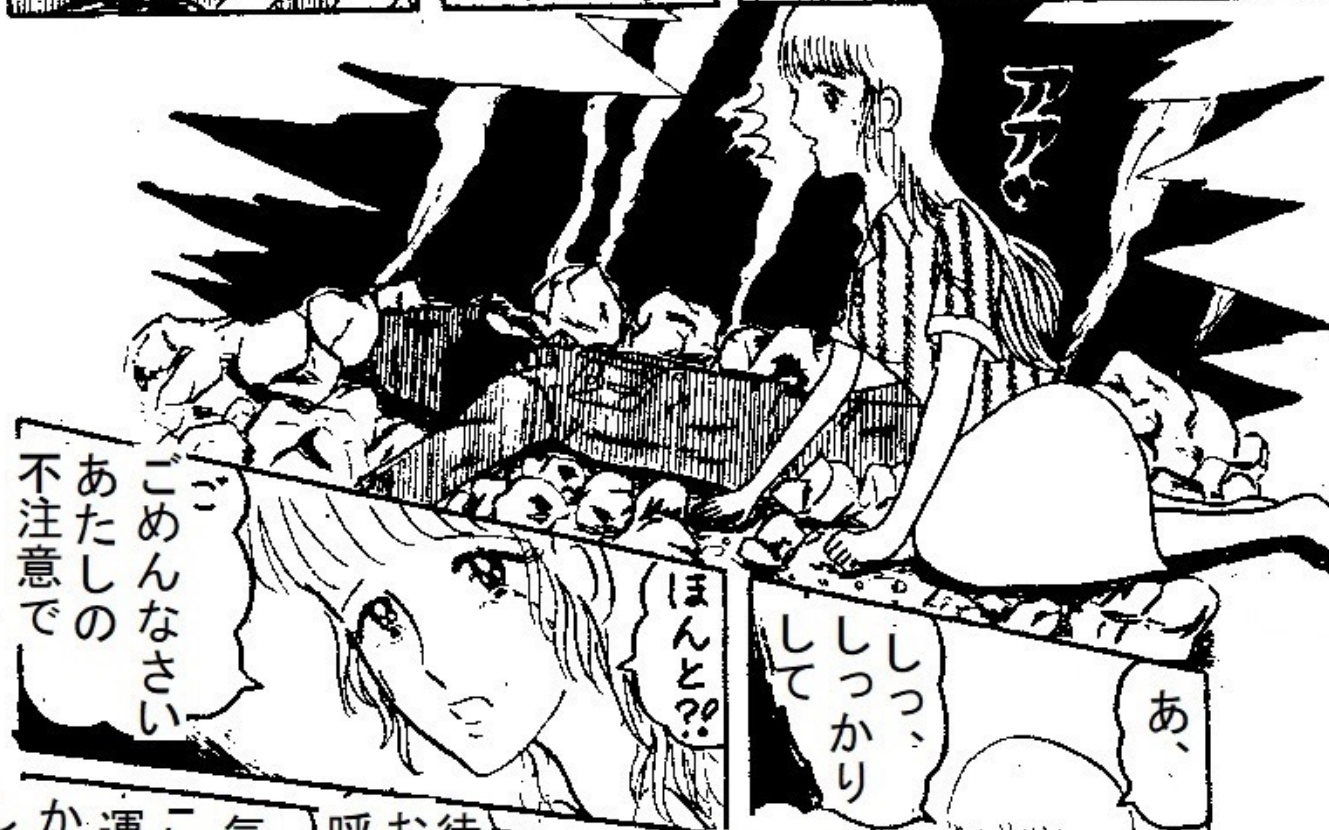
俺か？

カチッ

俺はー

危ないっ！
降りろっ！

カチッ



そ、そんな
ことないわ

あたしは
お医者さんを
連れてくる

だから
ここで
待ってて

待ってくれ
行く前に
教えてくれ

日本は
日本は
一体

大丈夫よ
安心して

日本は戦争には
負けたけど、
平和で豊かな国に
なったわ

そうか
本当に

すばらしい
ことだな

戦争の
ない
平和
な

国

しばらくして
私は、その壕の大半が
戦争中に土砂で
埋まってしまったことを
知りました

どうしてそんなことが
起こったのか
私にはわかりません
ひよっとしたら……
これは……

一人の人間が、
死の運命から
逃れようとして
起こしたことなの
かもしれませぬ

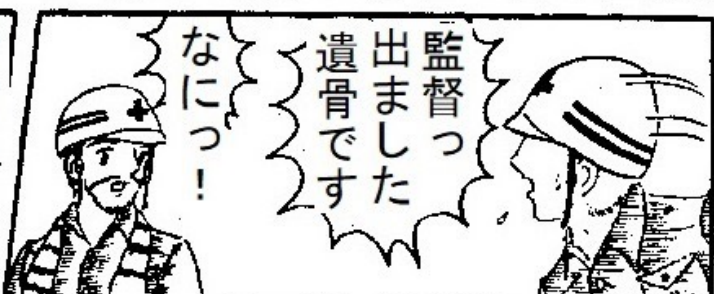
そして彼の場合
ほとんど成功して
いたのに――
後から追ってきた
「死の影」は
あと一歩のところまで
追い付いてしまった
のです

でもそれを
証明する
ものは何も
ありません

私一人の
記憶以外
には――

何十年も前に埋もれた
過去の壕に――
私は迷いこんでしまった
のでしょうか？

数か月後
厚生労働省の
遺骨収集団が
来島して
発掘調査が
行われ
ました



事実は—
一九四五年に
太平洋戦争は
終わったということ
だけなのです

